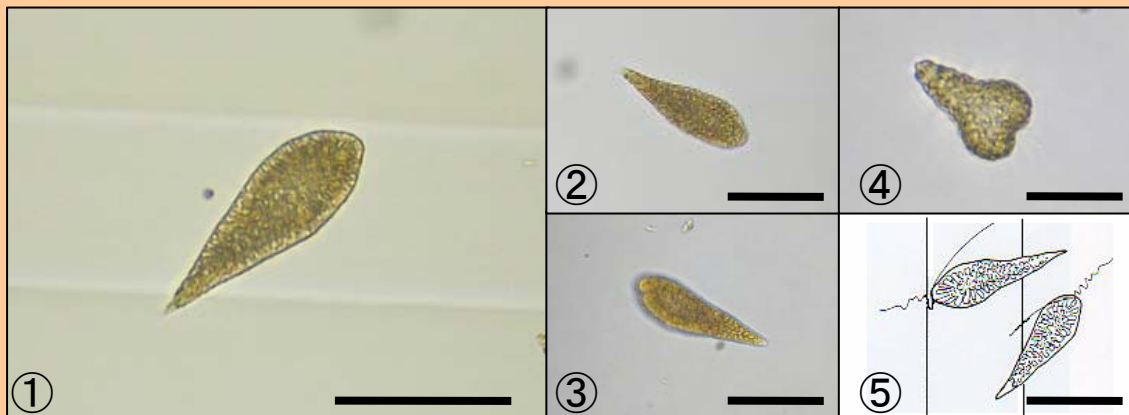


1 シャットネラ アンティーカー

Chattonella antiqua



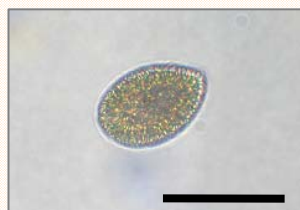
※ ①, ②, ③ 遊泳細胞 ④ 分裂中細胞 ⑤ 模式図 — : 50 μm

特記事項

極めて有害な種類で、海水が着色していない1ml当たり40細胞程度の密度でも魚類が斃死したことがある。

特徴

- 【 有害性 】 極めて有害
- 【 警報基準 】 警報基準細胞数 : 10 細胞/ml
注意報基準細胞数 : 5 細胞/ml
- 【 被害対象 】 魚類 (ブリ、シマアジ、カンパチ、トラフグ、マダイ等)
甲殻類 (クルマエビ、シバエビ、ガザミ等)
- 【 大きさ 】 細胞長 : 50-130 μm 、細胞幅 : 30-50 μm 、扁平で紡錘型
- 【 細胞の色 】 褐色～黄褐色
- 【 赤潮の色 】 茶褐色～赤褐色
- 【 運動状態 】 ゆるやかに回転しながら前進する。
- 【 赤潮時期 】 6月～9月
- 【 発生海域 】 有明海、八代海、天草海
- 【 類似種 】



シャットネラ マリーナ



シャットネラ オバータ